

各位

2021 年 9 月 16 日
ウイスキー文化研究所

ウイスキー文化研究所のテイスティング新企画

人気のウイスキーが飲み比べられる「トライアルパック」が新登場！

株式会社ウイスキー文化研究所（本社：東京都渋谷区広尾）は、2021 年 9 月 15 日（水）、ウイスキーミニボトル 5 本（各 20ml）と、それらの解説動画をセットにした、ウイスキーテイスティングの「トライアルパック」を新たに販売いたします。



概要

『ウイスキーガロア』編集長で、ウイスキー文化研究所代表の土屋守がテーマごとに選んだ 5 種類のウイスキーをセットにしてお届けします。購入者だけが視聴できる 30 分ほどの解説動画では、味わいの違いや、それぞれのウイスキーに秘められたストーリーも知ることができます。「ウイスキーを飲み始めたばかりだけど、いろいろな種類を味見してみたい！」

「“クラフト蒸留所”や、“ボトラーズ”のウイスキーってどんな感じ？」

「同じ生産地域のウイスキーを、いくつも飲み比べてみたい！」

そんな様々なご要望に合わせて、気軽にテイスティングを楽しんでいただける商品となっております。今

後は、月に一度、テーマの異なる 5〜7 セットをリリース予定です。ぜひ自分にぴったりのセットをぜひ探してみてください。

■TP001／アイラ基本のき まずはこの 5 本から

ブナハーブン 12 年／ボウモア 12 年／ラフロイグ 10 年／アードベッグ 10 年／キルホーマン マキヤーベイ

■TP002／話題のクラフト 新商品を飲み比べ

グラスゴー／ノックニーアン／キングスバーズ／ウルフバーン ノースランド／アイルサベイ

■TP003／バレンタインのキーモルト 5 種飲み比べ

グレントファース 15 年／ミルトンダフ 15 年／グレンバーギ 15 年／トーモア 14 年 / スキャパ スキレン

■TP004／GM とシグナトリー 2 大ボトラーズのスパイサイドを堪能

バルメナック 2006／アルタバーン 1996／グレンキース 1997／グレンダラン 2007／ストラスアイラ 2008

■TP005／究極の 18 年物を飲み比べ スコッチの華、夢の競演！！

グレングラント 18 年／グレンリベット 18 年／グレンフィディック 18 年／ダフタウン 18 年／マッカラン 18 年

ラインナップ

9 月 15 日よりトライアルパック 001（TP001）～005（TP005）まで順次発売されます。

最初にリリースされる 5 種類のラインナップすべて、2021 年 5 月に発行された、『完全版 シングルモルトスコッチ大全』に掲載されているボトルからセレクトしています。

本書にはそのウイスキーが造られた蒸留所の歴史や、より詳しいテイスティングノートも掲載されているので、飲みながら読む参考書としてもおすすめです。

■TP001／アイラ基本のき まずはこの 5 本から

ブナハーブン 12 年／ボウモア 12 年／ラフロイグ 10 年／アードベッグ 10 年／キルホーマン マキヤーベイ

スパイサイドと並ぶ“スコッチの聖地”がアイラ島。全部で 9 か所の蒸留所があり、現在そのうちの 8 つからシングルモルトがリリースされています。そこで、まずはこの 5 本から。アイラ最古を誇るボウモアから、最新のキルホーマンまで。南のキルダルトン地区からは 2 種類、そしてノンピートのブナハーブン。アイラの「ピーティ、スモーキー」という特徴の中で、それぞれどんな違いがあるのか。ぜひ確かめてみてください。

■TP002／話題のクラフト 新商品を飲み比べ

グラスゴー／ノックニーアン／キングスバーズ／ウルフバーン ノースランド／アイルサベイ

今話題のクラフト蒸留所の 5 種を飲み比べ。アイルサベイを除いては、ほとんどが初リリースでスコットランドからの直輸入です。ウルフバーンは本土最北にあるハイランドモルトですが、それ以外はすべてローラン

ド。ノックニーアン蒸留所はオーガニックウイスキーで知られており、アイルサベイはグレンフィディックで有名な W・グラント社が手掛ける蒸留所で、こだわり満載のピーテッドのローランドモルトです。いずれも現在のクラフトブームを象徴する蒸留所ばかりです。

■TP003／バランタインのキーモルト 5 種飲み比べ

グレントファース 15 年／ミルトンダフ 15 年／グレンバーギ 15 年／トーモア 14 年／スカパ スキレン
毎年日本でも販売されているバランタインのキーモルトシリーズ。トップブランドのブレンデッドを構成するキーモルトを、こんな形でリリースしているのはバランタインだけ。その 3 種（トファース、ミルトン、バーギー）に加えて、同じくトーモア、そしてペルリカル社で唯一のアイランズモルト、スカパも一緒にテイasting。新旧（？）キーモルトを飲み比べて、その違いを楽しめます。

■TP004／GM とシグナトリー 2 大ボトラーズのスパイサイドを堪能

バルメナック 2006／アルタバーン 1996／グレンキース 1997／グレンダラン 2007／ストラスアイラ 2008
今日のシングルモルトブームをつくったのはボトラーズといわれる独立瓶業者。その代表格がゴードン＆マクファイル（GM）社と、シグナトリー社です。どちらもいくつかのシリーズを出していますが、今回はそのスタンダードタイプであるシリーズから、スパイサイドの蒸留所だけを選びました。どれもオフィシャルとしてはほとんど出回っておらず、こういう形で飲み比べられるのは、このセットしかありません。

■TP005／究極の 18 年物を飲み比べ スコッチの華、夢の競演！！

グレングラント 18 年／グレンリベット 18 年／グレンフィディック 18 年／ダフタウン 18 年／マッカラン 18 年

今回リリースの目玉がこれ。スパイサイドの華やかなモルトの中でも、これは外せないという逸品のみを揃えました。それもすべて 18 年熟成。スコッチは昔から 18 年熟成が、その蒸留所の究極のモルト、真髓といわれてきました。蒸留所が一押しする 18 年だけを集めてテイastingするのは、まさに至福の時間といえるでしょう。

販売について

ウイスキー文化研究所オンラインショップにて、9 月 15 日（水）より各 20 セット限定で販売中。
→ウイスキー文化研究所オンラインショップ <http://www.scotchclub-shop.org/>

ウイスキー文化研究所とは？

ウイスキー文化研究所は、ウイスキー評論家の土屋守が代表を務める愛好家団体で、世界中のウイスキーの情報発信を行っています。2001 年 3 月の発足以来、ウイスキー専門誌「Whisky Galore」の発行をはじめ、「ウイスキーフェスティバル」や「コニサー資格認定制度」、「ウイスキー検定」「東京ウイスキー

&スピリッツコンペティション」など様々な取り組みを行っています。

土屋守 プロフィール

1954 年新潟県佐渡生まれ。学習院大学文学部卒。週刊誌記者を経て 1987 年に渡英。取材で行ったスコットランドで初めてスコッチのシングルモルトと出会い、スコッチにのめり込む。帰国後はウイスキー評論家として活躍し、98 年には「世界のウイスキーライター 5 人」に選ばれる。『ブレンデッドウイスキー大全』（小学館）、『竹鶴政孝とウイスキー』（東京書籍）など著書多数。近著に『ビジネスに効く教養としてのジャパニーズウイスキー』（祥伝社）、『人生を豊かにしたい人のためのウイスキー』（マイナビ出版）、“大全シリーズ”の第 6 作となる『完全版 シングルモルトスコッチ大全』（小学館）がある。2014 年放送の NHK 朝の連続テレビ小説「マッサン」ではウイスキー考証も務めた。

本リリースに関するお問い合わせ先

ウイスキー文化研究所

電話 03-6277-4103 e-mail: info@scotchclub.org

東京都渋谷区広尾 5-23-6 長谷部第 10 ビル 2F

<http://scotchclub.org/>